

# 行政経営評価（施策評価）

ライフステージの視点 (生活と時間)	4. 老いる・逝く	「高齢者福祉」を【老いる・逝くライフステージ】に該当する分野と捉えます。
-----------------------	-----------	--------------------------------------

施策分野	目指すべき姿
4-① 高齢者福祉	地域で支え合いながら、高齢者誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるまち

## ■まちづくりの視点

市民の視点	地域ぐるみで高齢者を支援する
行政の視点	地域包括ケアシステムの構築に取り組む
協働の視点	その人なりの老いや最後の迎え方を考えていくことができる

## ■成果指標と現状

指標名 (対象分野)	計画策定時 (基準年度)	3年後 (2021年度目標値)	現状 (最新)	5年後 (2023年度目標値)	10年後 (2028年度目標値)
① 要介護3以上の認定率 ( 高齢者福祉 )	6.4% (2017年度末)	6.7%	6.7% (2022年度)	6.6%	6.4%
② 要支援・要介護認定率 ( 高齢者福祉 )	17.4% (2017年度末)	18.4%	17.2% (2022年度)	18.7%	17.4%
③ 銚子プラチナ体操取組数 ( 高齢者福祉 )	23団体/282人 (2017年度末)	60団体/600人	48団体/561人 (2022年度)	80団体/800人	130団体/1,300人
④ 認知症サポーター養成講座受講者数 ( 高齢者福祉 )	4,579人 (2017年度末)	5,300人	6,254人 (2022年度)	5,500人	6,000人
⑤ 個別地域ケア会議開催回数 ( 高齢者福祉 )	31回 (2017年度)	34回	35回 (2022年度)	37回	40回

成果指標と現状の分析
<p>要介護3以上の認定率及び要支援・要介護認定率は前年度から減少しているものの、新型コロナウイルス感染症による介護認定の特例（認定期間の延長措置）が廃止されたことにより申請が集中したことから認定調査までに時間を要し結果が遅れたもので、5月時点での3月末認定率は、要介護3以上の認定率は2021年度末の6.9%から2022年度末は7.1%と0.2ポイントの増、要支援・要介護認定率は、2021年度末の17.6%から2022年度末は17.9%と0.3ポイントの増であった。</p> <p>このうち、要介護3以上の認定率については、計画の目標値より悪化しているが、これは高齢化、特に後期高齢者の割合が増加していることに加え、新型コロナウイルス感染症による外出控えや他者との交流が減少したことによる心身の状況の悪化により、介護度も重度化したものと推測される。</p> <p>2022年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつできる限り介護予防の取組の再開、継続に努めたが、その効果は次年度以降に期待したい。</p> <p>銚子プラチナ体操取組数は、取組団体の努力により、前年度の水準を維持できた。認知症サポーター養成講座受講者数は、地域包括支援センターによる継続的な取組により、順調に推移している。また、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が開設し、在宅サービスの充実を図ることができた。</p>

行政経営評価シート

事業ID	10302014419
------	-------------

事務事業名	地域包括ケア情報連携システム準備経費	所管	高齢者福祉課
-------	--------------------	----	--------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	4-(1)-1地域包括ケアシステムの構築・推進
	関連計画	○ : 総合戦略
		○ : その他 ( 銚子市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 )
	目的	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供できるようICTを活用した情報共有システムの構築を目指す。
	対象	医療機関、介護関係者
事業内容	高齢者を取り巻く様々な支援者(市、医療機関及び介護関係者)が必要な情報を共有し、連携できるよう情報共有ツールを整備するための準備を行う。国が進める医療DX推進で全国医療情報プラットフォームの構築の動向に注視しつつ、情報共有ツールの構築を目指す。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	116	58				58

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	地域包括ケア情報連携システム構築に向けた研修会の開催	回	%	目標値	2
実績値				1	—
		達成率	50.0	—	
%		目標値			
		実績値			
		達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
医療と介護の連携シートの活用件数	件	%	目標値	—	—
			実績値	129	—
			達成率	—	—
( )	%	目標値			
		実績値			
		達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					

事業の検証	事業の課題	国の進める医療DXの動向を踏まえて、市が取り組むべき、情報共有ツールを構築していく必要がある。二重入力による事務量の増加やシステム使用料の負担についての課題がある。								
	評価視点			総合評価						
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当						
	高い	高い	高い							
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)						
成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性	在宅医療を支える医療機関と生活を支える介護関係者が、情報共有を円滑に行うための連絡ツールの整備を行う。なお、介護と医療が連携を密に行うことが、高齢者の在宅生活支援には必要であるため、医療と介護をつなぐ研修会など顔が見える関係づくりも引き続き継続していく。

行政経営評価シート

事業ID	10302010919
------	-------------

事務事業名	老人憩の家等管理経費	所管	高齢者福祉課
-------	------------	----	--------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	4-(1)-3 生きがいづくりと社会参加への支援
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 ( 銚子市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 )
	目的	高齢者の心身の健康の増進及び教養の向上並びに市民の福祉の増進を図る。
	対象	銚子市老人憩の家・地域福祉センター及び銚子市芦崎高齢者いきいセンター
事業内容	銚子市が設置する高齢者福祉施設の指定管理者制度における業務管理委託	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	26,096	26,096	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							26,096

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			銚子市老人憩の家・地域福祉センター利用者数	人
	%	実績値	11,669	9,581
		達成率	116.7	100.9
銚子市芦崎高齢者いきいセンター利用者数	人	目標値	4,000	4,500
	%	実績値	5,172	3,551
		達成率	129.3	78.9
		目標値		
	%	実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
( )	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
( )	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
高齢者の健全な憩の場の確保と地域住民の交流の場として、円滑に管理運営を行っている。				

事業の課題	両施設とも老朽化により改修が必要な箇所が多数あるため、応急修繕をしながら運営をしているが、今後も修繕費用が多額となる見込みである。また、利用者が減少しているため、令和7年度までに指定管理期間満了後の施設の在り方について方向性を決定する必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	B:事業の進め方の改善の検討
	やや高い	やや低い	やや低い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)
	成果の方向性	拡充	○	
現状維持				
縮小				
休廃止				
	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				
老人憩の家・地域福祉センター及び芦崎高齢者いきいセンターは老朽化による設備改修が生じているが、財源が乏しく対応が困難なことから、設備修繕の優先度と併せて管理運営について、指定管理者と協議していく。また、施設の在り方について方向性を決定するため計画的に事務を遂行する。				

行政経営評価シート

事業ID	10302013819
------	-------------

事務事業名	介護施設整備等補助事業経費	所管	高齢者福祉課
-------	---------------	----	--------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	4-(1)-6 介護保険制度の運営の充実
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 ( 銚子市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 )
	目的	「住み慣れた地域ですやかに安心して生活を送るできるまち」として地域包括ケアシステムの構築・推進に努めている。この地域包括ケアシステムの中核をに担うサービスの基盤整備を図る。
	対象	地域密着型サービス事業所の開設・運営を行う事業所
事業内容	地域密着型サービス事業所の開設・運営を行う事業所を公募選定し、建設費及び開設準備支援経費を助成する。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	14,040	14,015	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				14,000			15

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	介護施設開設補助件数 (定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所)		件	目標値	1	—
				実績値	1	—
			%	達成率	100.0	—
				目標値		
			%	達成率		
	事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
				目標値		
			%	達成率		
				目標値		
		%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が開設し、在宅サービスの充実を図ることができた。						

事業の検証	事業の課題	適正な事業を行うことができる法人の事業への参入が求められる。				
	評価視点				総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	3年毎に策定する介護保険事業計画において、介護サービス見込量や施設入所待機者の状況、保険料の算定を行い、必要な施設の整備計画を定めている。その計画に基づき、公募を行い施設整備を行うが、適正な事業を行うことができる事業所の参入が求められる。
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						

行政経営評価シート

事業ID	10302011519
------	-------------

事務事業名	緊急通報体制等整備経費	所管	高齢者福祉課
-------	-------------	----	--------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	4-(1)-7 その他【高齢者福祉】
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 ( 銚子市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 )
	目的	在宅の高齢者の急病等緊急事態の発生時に迅速かつ的確に対応し、在宅の高齢者の福祉の増進を図る。
	対象	高齢者のみまたは高齢者及び障害者等で構成される世帯（平成31年4月1日以降で新規設置できる者は、世帯員全員が非課税であることが条件）
事業内容	急病その他の緊急事態の発生に備え緊急通報装置を貸与し、迅速かつ的確に高齢者の救助及び援助を行う。利用料として、市民税非課税世帯は月200円、市民税課税世帯及び未申告世帯は月400円を対象者が負担する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	4,984	4,422				482	3,940

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			緊急通報装置設置台数（年度末時点）	台
	%	達成率	—	—
		目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
( )	%	目標値 実績値		
( )	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
独居等の高齢者に安全・安心を与える事業として、高齢者福祉の増進に寄与している。				

事業の検証	事業の課題	現在設置している通報装置は固定電話への接続が必要なため、自宅に固定電話がない高齢者への対応や、協力者がいない場合などへの対応を検討する必要がある。					
	評価視点			総合評価			
	必要性	有効性	効率性	B:事業の進め方の改善の検討			
	高い	高い	高い				
	今後の方向性			<p style="text-align: center;">総 評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>緊急時の通報体制を整えることにより、在宅の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう在宅生活の支援を継続する。</p>			
	成果の方向性	拡充	○				
現状維持							
縮小							
休廃止							
	皆減	縮小	現状維持	拡大			
コスト投入の方向性							

行政経営評価シート

事業ID	10302020119
------	-------------

事務事業名	老人措置委託経費	所管	高齢者福祉課
-------	----------	----	--------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	4-(1)-7 その他【高齢者福祉】
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 ( — )
	目的	居宅において養護を受けることが困難な高齢者の入所措置により、健康保持及び生活の安定を図る。
	対象	銚子市が措置を実施した入所者がいる各養護老人ホーム等
事業内容	老人福祉法に基づく施設入所措置に要する費用	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	57,376	56,173				6,187	49,986

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			施設入所措置者数(延人数)	人
	%	達成率	—	—
		目標値 実績値		
	%	達成率		
		目標値 実績値 達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
( )	%	目標値 実績値 達成率		
( )	%	目標値 実績値 達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
養護を受けることが困難な高齢者の健康維持及び生活の安定を図ることに寄与している。				

事業の課題	市外の養護老人ホームへ入所措置をしているため、それぞれの施設ごとに対応方法が違うことや、入所者との面談や入所施設との連絡のため、何度も施設へ訪問する必要があり、対応ケースが重なると調整などが困難な場合がある。					
事業の検証	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)  地域包括支援センターや自立支援相談センターなどの相談窓口と連携し、適切な入所措置を実施していく。また、措置入所実施後の入所施設との適切な連携を図る必要がある。		
	成果の方向性	拡充				
現状維持			○			
縮小						
休廃止						
	皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性						